

第6話 血液サラサラ薬で脳梗塞の再発予防

脳梗塞の予防には、血栓ができるのを防ぐ抗血栓薬を使用します。いわゆる「血液サラサラ薬」ですが、抗血小板薬と抗凝固薬の2種類があります。

血栓のでき方には違いがあり、それに応じた「血液サラサラ薬」を使います。

血栓のでき方の違いと抗血栓薬の使い方

<p>アテローム血栓性脳梗塞 ラクナ梗塞</p>	<p>脳梗塞 の種類</p>	<p>心原性脳塞栓症</p>
<p>動脈硬化を起こした血管 ↓ 血液中の血小板が活性化し 血栓が生じる (第3話 参照)</p>	<p>血栓の でき方</p>	<p>心房細動 ↓ 心臓内で血液の流れが停滞 ↓ 血液の凝固因子が働き 血栓が生じる ↓ 血栓が、脳の動脈に飛来する (3話、第5話 参照)</p>
<p>◎抗血小板薬 (血小板の働きを抑える薬) ・アスピリン ・シロスタゾール ・クロピドグレル</p>	<p>抗血栓の 分類</p>	<p>◎抗凝固薬 (血液の凝固機能を抑える薬) ○凝固因子の生成を抑える ワルファリン ○凝固因子の働きを抑える プラザキサ、イグザレルト エリキュース、リクシアナ</p>

血液サラサラ薬は脳梗塞や心臓病の予防には有用ですが、逆に脳出血や胃・大腸などの消化管出血を起こす危険性も持ち合わせています。そのため、なぜその薬が必要なのか、逆にどんな副作用があるのかを十分に理解して使用する必要があります。

抗血栓薬服用時の注意点



- ・**高血圧**:「脳出血」を防ぐため、可能な限り 130mmHg 以下が目標。
- ・**出血傾向**:皮膚の内出血、鼻血、歯ぐきの出血。黒色便・血便、血痰などに注意。
- ・**薬剤の飲み合わせ**で効果が変わることがあります。他院でもらっている薬はお知らせ下さい。
- ・**ワルファリン**と食べ物:納豆、青汁、クロレラは摂らないでください。その他の黄緑色野菜も注意。効かなくなる可能性があります。
- ・**クロピドグレル、シロスタゾール**:グレープフルーツの摂取は控えてください。効きすぎになる可能性があります。
- ・**手術**では、必要に応じて薬を中断します。
- ・**怪我**をしたときは、通常より出血が多くなる可能性があります。

